

思いやりあふれる風が吹く



ASAHI UNIV.

NO. 27

2013. JANUARY

ぶらざ村上

発行日/2013年1月30日 企画編集/広報委員会

●年頭にあたり	副病院長 武田 則之 …………… 2
●付加価値眼内レンズ(高機能眼内レンズ)を用いた白内障手術治療について	眼科講師 矢田 宏一郎 …………… 3
●放射線治療を開始しました	放射線治療科医師 大宝 和博 …………… 3
●乳腺外科・婦人科のリニューアルオープン	管理課 加藤 祐司 …………… 4
●回復期リハビリテーション病棟の移転	管理課 加藤 祐司 …………… 4
●患者満足度調査を実施しました	医事一課 浅野 一男 …………… 4
●海外研修報告	整形外科医師 河合 亮輔 …………… 5
●体幹を鍛えて転倒予防	リハビリテーション室 中森 秀典 …………… 5
●新任紹介	…………… 5
●市民公開講座「人間ドックのすすめ」を開催しました	医事一課 小林 小恵子 …………… 6
●入院患者さん全員にひざ掛け贈る	医事一課 浅野 一男 …………… 6
●「病院機能評価Ver.6」を受審して	事務部長 白井 認 …………… 6
●シリーズ 健診センター便り④	総合健診センター副センター長 出口 富美子 …… 7
●シリーズ 医食同源 NO.12 ~脂肪肝の食事療法~	管理栄養士 高橋 貞子 …………… 7
●診療医のご案内	…………… 8



2012年11月にリニューアルした
乳腺外科(左)と婦人科





年頭にあたり

副病院長 武田 則之



2013年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。朝日大学歯学部附属村上記念病院は2012年4月27日に新棟の西館が竣工いたしました。これに伴い、西館において放射線治療科が診療を開始しました。放射線治療は従来、当院には無かった診療分野であり病院機能がレベルアップしました。また、それまで東館にあった健診センターが西館に移設されました。健診受診者数の増加に対応できる設備を有しており、より快適な健診環境を提供できるようになりました。西館新設に伴う病院施設の改造は現在も進行中ですが、2013年度中にはおおむね完成します。ますます地域の皆さまのお役に立てる病院となることを確信しています。

医学・医療に携わる者として、2012年度の話題の第一は何といっても山中伸弥教授のiPS細胞の開発に対するノーベル医学生理学賞の授与があげられます。医学・医療の分野の新しい扉を開いた研究です。必ずや、多くの病人を救う治療につながると思われます。

日本の人口は2008年がピークで、日本は人口減少社会という新たな社会の局面を迎えています。これに高齢化が加わり、社会保障制度などが大きな問題となっています。最近の社会の動静では年末に衆議院選挙が実施され、自民党が大勝しました。安部晋三自民党総裁を首班とする新内閣が2013年度の日本の舵取りを行うこととなります。安部総裁

がおっしゃるように日本経済は円高、デフレに苦しみ停滞が続いています。経済の地盤沈下は国際的な日本の地位の低下も招いており、最近の領土問題も日本の経済弱体化と関連があると考えられています。物づくりにまい進した過去の産業形態ではこの状況は克服できないように思えます。新たな進むべき方向性を開拓するための英知と努力が必要です。日本人は戦後アメリカをモデルにして生活の豊かさや便利さを追及してきました。しかし、今、新しい視点が必要になっているように思えます。2011年11月17日にブータンの若きワンチュク国王夫妻が訪日され国会において東日本大震災後の日本人と日本社会を励ます感動的なスピーチをされました。この時、ブータンは国民総生産ではなく国民総幸福量の増進を目指す国とマスコミから紹介されました。パラダイムシフトあるいはパラダイムチェンジと言われる概念があります。その時代や分野において当然のことと考えられていた認識や、社会全体の価値観が変化することを言います。ブータンでこのパラダイムシフトが起きたのは1972年の前国王の時だそうです。ブータンでこの目標に向かってどのような政策が実施されているのか知りませんが、閉塞感で息が詰まりそうな日本の社会にとって大いに参考になると思います。2013年の新年のびらぎ村上の巻頭言にふさわしい話題と思ひふれさせていただきました。

病院の理念

地域の中核病院として、安全で質の高い医療を提供し社会に貢献します。

病院の方針

1. 患者さんの人格、権利、プライバシーを尊重し、患者さんの立場に立ったチーム医療を行います。
2. 患者さんのために医学的根拠にもとづいた医療を実践します。
3. 安全・高度・安心な医療を医科及び歯科が連携して行います。
4. 救急医療の充実に努めます。
5. 予防医学の推進により生活習慣病の予防に努めます。
6. 十分なインフォームドコンセントのうえ、医療を実践します。
7. 全人的な医療を行うため、全職員の力を結集します。
8. 地域における医療連携を推進します。
9. 病院内外の医療関係者・従事者などに対して教育・研修の場を提供します。
10. 健全な経営体質の維持をはかります。
11. 全職員が誇りを持って働ける職場づくりに努めます。

患者さんの権利

私たちは、当院を受診される皆様が以下の権利を有することを確認し、尊重します。

1. 人としての尊厳をもって医療を受けること。
2. 安全で質の高い医療を受けること。
3. 十分な説明と情報を得たうえで、自らの意思で医療を受けること。
4. プライバシーと個人情報保護されること。
5. セカンドオピニオンを求めること。
6. 研究や教育への協力を自らの意思で決定すること。

付加価値眼内レンズ(高機能眼内レンズ)を用いた 白内障手術治療について

眼科講師 矢田 宏一郎

白内障は眼科において主要な疾患の一つであり、眼球内の水晶体が混濁して視力障害を生じる病気です。みなさんにもよく知られている眼科疾患の一つですが、近年の白内障手術における技術進歩には目覚ましいものがあります。手術機器の進化により、昔では治療困難であったり大手術が必要であった成熟白内障(極度に進行した白内障)に関しても、手術治療により視力改善を得られるようになりました。また眼内レンズ(術後に眼内に固定する人工水晶体)に関する機能もここ数年で大きく進化してきました。

特に近年では「付加価値眼内レンズ(高機能眼内レンズ)」の開発・使用により、視力改善のみならず、日常生活での快適性も向上することを目的とした白内障手術が広く行われるようになってきました。当院眼科でも近年このような「付加価値レンズ」を用いた白内障手術を導入しており、多くの患者さんの視力のみならず、生活の質(見え方の質)を向上することへの貢献になっているものと思われま。

一つは「多焦点眼内レンズ(遠近両用眼内レンズ)」を導入し、2012年11月より厚生労働省の「先進医療」として治療を行うことができるようになりました。

(*先進医療とは保険診療と自費診療が併用できる仕組みであり、多焦点眼内レンズを用いた白内障手術では手術および眼内レンズにかかわる部分のみ自己負担であり、それ以外の入院費用・

外来検査費用などは保険診療を用いることが可能です。)

多焦点眼内レンズとは、従来1点にしか焦点(ピント)が合わなかったものに対して、遠方及び近方両方の裸眼視力が快適になるように設計された眼内レンズです。実際の見え方は若いころの水晶体にはかきませんが、老眼鏡や遠近両用の眼鏡を使用する時間を少しでも少なくできるうえで、皆さんの生活上での快適性を向上させることができるものと考えております。(*多焦点眼内レンズは眼の状況により適応がある場合と無い場合があり、実際に行う際には各種検査のうえ適応に関して判断しています。)

もう一つは「乱視矯正眼内レンズ(トーリック眼内レンズ)」であり、強い乱視に対して白内障手術において乱視の矯正を眼内レンズで行うことができるようになりました。乱視矯正眼内レンズは保険適応であり、治療に関しては従来の白内障治療と同様に保険診療で行うことが可能です。(自己負担額は従来の白内障と全く同じです。)

当院眼科ではこのように通常の白内障診断・治療だけではなく、学会などに積極的に参加し治療の内容も常に最新の治療内容を積極的に取り入れ、病院ならではの先進的な治療を患者さん皆さんに提供すべく日々の診療にあたっております。



放射線治療を開始しました

放射線治療科医師 大宝 和博

2012年10月11月から放射線治療を開始しましたので現況を報告させていただきます。当院では岐阜県内では初めてとなるエレクトラ社の最新の放射線治療装置シナジー(Synergy®)を導入しました。放射線治療で一般に用いられるX線・電子線を当てる(照射する)治療器です。一つの大きな特徴は、体の奥にある直接見えない患部を治療するX線照射での位置合わせ(照合)の際、単に皮膚の目印だけではなく体の中の骨あるいは患部そのものをCT画像として描出し、それに基づき直接正確な位置合わせができることです。このような高い精度の治療(高精度放射線治療、画像誘導放射線治療などといいます。)を全てにおいて毎回行うことが可能です。また治療期間中に



生ずる体の中の変化(病変が小さくなったかどうかなど)も治療を行いながら評価することが可能で、必要に応じて適切な時期に治療計画を修正(照射範囲を縮小する、位置

を調整する。)できます。より効果的で安全性の高い放射線治療を行う上でとても有益な機能を有しています。

開始以来2カ月で院内の患者さんを中心に17名の治療をすでに行っております。

放射線治療はがん治療において手術、薬物療法に並ぶ3本柱の一つとしてその重要性は年々高まっています。役割としては放射線治療のみで治療が十分な場合もありますが、手術あるいは薬物療法との適切な組み合わせ(集学的治療といいます。)によって、より効果的な治療を行うことが可能となります。例えば病状の進行度から現時点で手術が難しい場合でも、放射線治療と化学療法をまず行って患部を小さくすることで手術が可能となる場合などもあります。当院では放射線治療が可能となったことでがん治療の3本柱すべてを院内で実施できるようになりこれまで以上に多くの方により適した治療法、選択肢を提供できるようになりました。

設備としては脳などの小さな病変に対するピンポイント照射(定位放射線治療といいます。)も可能であり、今後もより良い放射線治療を提供できるよう一歩一歩着実に進めていきたいと考えております。

乳腺外科・婦人科のリニューアルオープン

管理課 加藤 祐司

昨年4月に西館完成後、引き続き本館・東館の改修工事を行っております。工事は本年12月に完了予定で、引き続き皆様には騒音等でご迷惑をおかけすることになります。何卒ご了承願います。

さて、その改修工事の一環として東館7階に乳腺外科と婦人科の外来診療室を移転し、11月19日から診療を開始しております。今までは一般の診療室の一角にあり、周囲の環境等で女性の患者さんにはご迷惑をおかけしてきましたが、女性専用フロアを確保することができ、幾分リラックスして受診していただけるものと思っております。

広くゆったりとした空間作りと診療機能の充実を両立すること



乳腺外科

を目的に設計し、また、高層階にあるため、周辺を一望することも可能な環境にあります。

建物の環境だけでなく、今後とも診療の質向上に向けて職員一同、鋭意努力して参ります。

また、冒頭にも書きましたとおり、今後引き続き改修工事を行いますが、現在、本館病棟のリニューアルを順次行う一方で、外来化学療法室の新設工事を行っており(3月完成予定)、内視鏡センターの整備・拡充等を行います。

引き続き、皆様のご理解・ご協力をいただけますようお願いいたします。



婦人科

回復期リハビリテーション病棟の移転

管理課 加藤 祐司

新規オープンした西館に、本館6階南病棟にありました回復期リハビリテーション病棟を移しました。

当初から、この病棟は西館に移転することを計画しており、昨年11月に実施させていただきました。



西館4階の病床は42床で、本館のときより2床多くなり、また、病棟内に専用の120m²あるリハビリ訓練室のほか、生活機能訓練室や

言語聴覚療法室も備え、より患者さんに合った、より密度の濃い訓練ができる設備を備えております。

また、各所にあるトイレは左右どちらの麻痺の方にも対応できる仕様となっており、お風呂も介助の必要な方、ご自身で

利用できる方のいずれにも対応できるものを設置してあります。患者さんには早くご自宅に復帰いただくため、スタッフ一同、看護に訓練に、これまで以上にご協力できるよう鋭意努力して参ります。

患者さんにおかれましては、逆に病院に居続けたい環境かも知れませんが、やはり、早期退院、早期復帰を目指して、お手伝いしたいと思います。

患者満足度調査を実施しました

医事一課 浅野 一男

当院では、患者サービスの向上を目的とし、医療サービス向上委員会を設置しております。副病院長を委員長として各所属から委員を選出し、毎月1回開催していますが、この医療サービス向上委員会が中心となり患者満足度調査を年1回行っております。

調査は、あらかじめ設定した期間で実施し、専門業者に委託して外来・入院ごとに集計や分析等を行っております。当院に対する率直なご意見を伺い、患者サービスの向上等、今後の病院運営に役立てるための貴重な資料としたいと考えております。

調査結果からは、当院の取り組みや姿勢に対してご理解を示してくださる方々の存在を感じております。

今後も医療サービス向上委員会の活動を通じて、患者さんの立場に立った医療サービスの改善を行い、地域に信頼される開かれた病院を目指し、患者さんの声に耳を傾ける努力を続けて参ります。アンケート調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

なお、今回の調査結果につきましては、1階ロビーに掲示させていただきます。

2012年4月から7月までの3カ月間、イタリア・ローマ市内の病院(VILLA STUART)のDr.マリアーニのもとで海外研修をさせていただきました。それまで私はヨーロッパを訪れたことがありませんでしたが、イタリアは言うまでもなくサッカーを中心としたスポーツ活動が盛んであり、関節鏡を中心とした手術症例が豊富であることや、Dr.マリアーニの膝関節軟骨や半月板に関する文献を読んだことが、今回研修先として選んだ理由でした。



ローマ市街地は多くの歴史的建造物があり、春先から夏にかけて多くの観光客で賑わう中、郊外に位置するVILLA STUARTは中心街の喧騒を忘れさせるかのような静かな場所に位置した病院でした。広大な敷地の中には緑が多く病院というより

は自然公園のようで、ゆったりとした時間が流れていました。Dr.マリアーニはサングラスとパイプがとても似合う優しい先生でしたが、手術中は周囲にも自分にも厳しく、手術に対する熱意とこだわりが感じられました。私はあいさつ程度しかイタリア語が話せませんでしたので、英語でいろいろ丁寧に説明していただきました。手術は1日に6~8件ほどあり、患者さんの多くはサッカーやバレーボールを中心としたスポーツ選手で、イタリア近隣国から来院される患者さんもあり、その症例の多さには驚かされました。特に前十字靭帯再建術は年間450例と多く、他には半月板切除・縫合、膝蓋骨脱臼、後十字靭帯再建、外側側副靭帯縫合・再建、外傷・骨折などの手術も行っています。時には膝蓋腱炎の難治例に対する手術など日本ではあまり行われていない症例まで、幅広く見ることができたことが良い経験となりました。

最後に、今回このような貴重な機会を与えてくださいました朝日大学の関係者の皆様および、3か月間も留守にすることを許していただきました整形外科の先生方、誠にありがとうございました。



最後に、今回このような貴重な機会を与えてくださいました朝日大学の関係者の皆様および、3か月間も留守にすることを許していただきました整形外科の先生方、誠にありがとうございました。

最後に、今回このような貴重な機会を与えてくださいました朝日大学の関係者の皆様および、3か月間も留守にすることを許していただきました整形外科の先生方、誠にありがとうございました。

体幹を鍛えて転倒予防

リハビリテーション室 中森 秀典

転倒予防に足腰を鍛えるのは効果的です。特に体幹は胸からお腹にかけての体の幹となる場所で、体のバランスをとる役割や、手足の力を発揮させる土台となる部分でもあります。また、

体幹の筋力を高めることで、腰痛の予防にもなり一石二鳥です。今回は、体幹ウォーキングをご紹介します。普段の生活にちょっとした運動を加えてみてはいかがでしょうか。



背筋をしっかり伸ばして胸を張ります。肩の力を抜いてリラックスします。



肘を後ろに引くようなイメージで腕を大きめに振り、腰を高い位置で保つイメージで歩幅を大きく歩きます。



着地は踵から行います。



着地した足の真上に上半身を乗せます。

新任紹介



呼吸器内科 助教

金村 晋吾

(かねむら しんご)

呼吸器疾患を担当させていただきます。よろしくお祈りします。

(2012年8月1日 赴任)



消化器内科

大島 靖広

(おおしま やすひろ)

消化器内科、特に肝・胆・膵内科が専門です。よろしくお祈りします。

(2012年10月1日 赴任)

市民公開講座「人間ドックのすすめ」を開催しました 医事一課 小林 小恵子

2012年11月10日(土)、西館総合健診センター及びホールにおいて「市民公開講座」を開催いたしました。

当公開講座は、朝日大学村上記念病院総合健診センター新築移転記念として開催したもので、「人間ドックのすすめ～あなたのカラダは大丈夫ですか?～」をメインテーマとして小島センター長から「人間ドックのすすめ」、出口副センター長から「生活習慣病」、大洞准教授、川口教授からはそれぞれ専門分野である大腸、乳腺におけるがんの原因や生活習慣病との関わりなどについて講演があり、治療と予防の両面からわかりやすく説明がありました。

また、講演に先立ち、リニューアルした総合健診センターにおいて「人間ドックミニ体験」として身体測定、血圧・視力・眼圧の測定、保健指導を実施いたしました。実際人間ドックと同じように当センタースタッフが検査・指導をさせていただきます。



受講者は熱心に自分の健康状態を確認されていました。

当日は100名の方々に参加していただき、たくさんの質疑応答も行われ、盛況のうちに終了することができました。

今後も皆様の健康維持のため、予防医学の情報提供を行い、地域に役立つ医療機関を目指して参ります。どうぞ当センターをご利用してまいりますようお願い申し上げます。



入院患者さん全員にひざ掛け贈る

医事一課 浅野 一男

2012年12月25日、クリスマスにぬくもりを贈ろうと、森プリント株式会社(羽島郡笠松町米野)の森典義社長



様から入院患者さん230人にひざ掛けとプリザーブドフラワーのプレゼントがありました。

毎年この時期になると、取引先である繊維会社様の協力のもとご寄附いただき、イベントも今回で8回目となりました。

当日は、森プリント様の紹介者でもある当院非常勤医師いちだクリニック院長の市田正成先生にご参加いただき、サンタクロース姿に扮して病室を訪問。「元気になってください」「お大事に」と患者さんひとりひとりに声をかけてひざ掛けを渡すと、患者さんは「心のこもったぬくもりをありがとう」と笑顔をほころばせていました。

「病院機能評価Ver.6」を受審して

事務部長 臼井 認

2012年11月15日から17日の3日間にわたり、病院機能評価Ver.6を受審しました。10年前に初めてVer.3を受審し、5年前にVer.5を受審、そして5年間の認定期間が2012年12月15日で切れる昨年、3度目の受審となりました。

病院機能評価とは、日本医療機能評価機構からサーベイヤー(調査担当者)が受審病院を訪れ、書面審査と院内ラウンドを行い、第三者的な見地から総合的に病院機能をチェックします。医療の質と安全の向上を目的とし、一定の基準を満たしていると評価された場合に認定されるものです。病院の規模にもよりますが、当院の場合、7名のサーベイヤーによって6領域300項目以上

にわたる審査が行われました。

受審日まで短期間であったため、全職員が鬼気迫る思いで準備にあたり、日頃の業務に加え受審までに必要な書面準備、院内整備、不適合な事項の見直し等に奔走し、何とか受審日を迎え3日間の審査を無事終えました。

全国同一レベルでの審査を受けることにより病院の現状を再確認し、問題が指摘された箇所を是正し、より良い病院機能を発揮していけるよう更なる努力をして参ります。

受審結果の通知は2013年2月以降の予定です。職員の努力が結実することを願っております。

シリーズ
健診センター
便り④

総合健診センター副センター長
出口 富美子

2012年5月に西館1・2階に移設オープンしてから半年が経ち、受診者の皆様からも、広がって快適に受診できた・予約が取りやすくなったなど、うれしいお声を頂戴しております。2011年の人間ドック受診者は11,773人(男女比は3対2)、ほとんどが半日コースを受診され、1泊2日コースは228人でした。総合判定で“正常”はわずか4%ほどで、約半数は要経過観察、25%は要精査治療と判定されます。生活習慣病に関しては脂質異常が40%近くと高頻度であり、高血圧・肝機能障害が約20%、血糖異常16%でした。追跡が可能であった55%の受診者から確認された癌は42例で、その内訳は胃癌13(早期7、進行3、不明3)、大腸癌8(早期5、不明3)、乳癌4、腎臓癌3、前立腺癌3、子宮癌3、食道癌3(早期2)、肺癌2、甲状腺癌・尿管癌・悪性リンパ腫が各1でした。新しくなった健診センターでは、デジタル化された最新の検査機器を用い、精度の高い健診とおもてなしの心で皆様のご利用をお待ちしております。

オプション検査件数

上部消化管内視鏡検査 (経鼻内視鏡)	1,398 (415)
乳癌検診	2,836
子宮癌検診	2,237
頭部MRI検査	568
胸部CT検査	179
腹部CT検査	110
骨塩定量	621
喀痰細胞診検査	289
動脈硬化検査	312
腫瘍マーカー検査	4,119

メタボリックシンドローム

男性	12.4%
女性	1.4%
全体	8.7%

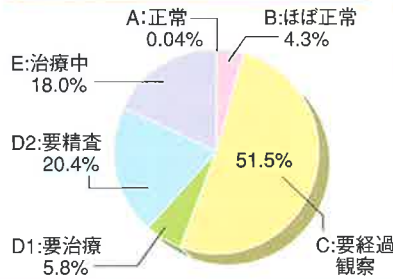
生活習慣病

脂質異常	39%
高血圧	21%
肝機能障害	19%
血糖異常	16%

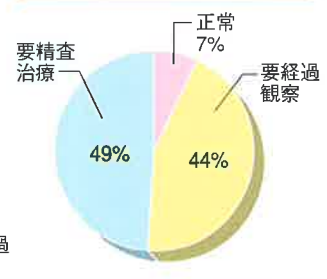
要精査指示率

上部消化管X線検査	6.7%
便潜血検査	4.4%
腹部超音波検査	2.7%
眼底検査	1.5%
胸部X線検査	0.8%
心電図検査	0.7%

総合判定



口腔検診 受診率=1280/3242=39%



シリーズ 医食同源 NO.12
脂肪肝の食事療法

管理栄養士 高橋 貞子

脂肪肝が長く続くと肝硬変につながります。
5つの食事法を実践してみましょう!

- ① ご飯・麺類・パン類・お菓子を食べ過ぎない
- ② こってり料理・揚げ物は控える
- ③ 毎食、野菜を食べる
- ④ アルコールは取り過ぎない
- ⑤ うす味にする

れんこんハンバーグ (やわらかヘルシーハンバーグ) (260kcal、塩分1.4g)

材料 1人分

合びき肉	40g	山芋	8g	塩	0.5g	黒こしょう	0.05g
とりひき肉	40g	卵	10g	パン粉	5g	牛乳	10g
たまねぎ	30g	れんこん	30g	油	2g	バター	

「甘酢ソース」

酢8g、砂糖6g、醤油6g、生薑汁1g、だし汁20g、片栗粉2g

「トッピング」

さやえんどう 10g
トマト 80g
かいわれ 1g

作り方

- 1 たまねぎのみじん切りをバターで炒める。
 - 2 山芋はすりおろし、れんこんは半分すりおろし、残りはみじん切りにする。
 - 3 ビニール袋に材料を入れ、よくこねる。
 - 4 形を整え、フライパンに油を入れてふたをして焼く。
 - 5 甘酢ソースを作り盛り付ける。
- そばつゆと砂糖で甘辛く味付けてもおいしい。



雑穀ご飯 (繊維たっぷりごはん) (320kcal)

材料 1人分

米	100g	雑穀	8g
---	------	----	----

フルーツ (ビタミンCが多くストレス解消効果) (34kcal)

材料 1人分

いちご	100g
-----	------

信田和え (ビタミン、カルシウム、鉄に富む野菜) (30kcal、塩分0.5g)

材料 1人分

小松菜	80g
油あげ	5g
そばつゆ	5g

作り方

- 1 小松菜をゆでる。
- 2 油あげは焦げ目がつくぐらい焼き、細切りにする。
- 3 そばつゆで和える。

もずくの吸い物 (食物繊維で腸の環境良好) (6kcal、塩分1.4g)

材料 1人分

もずく	3g	ねぎ	10g	ゆず	少々	だし汁	170g	薄口しょうゆ	8g
-----	----	----	-----	----	----	-----	------	--------	----



診療医ご案内



(2013年1月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金	土
消化器内科	初診	福田	伴	下村 (非常勤)	大洞	加藤(隆)	森本 大島
	予約診	小島	大洞	小島	加藤(隆)	奥田	加藤(隆)
	予約診	森本	大島	—	伴	福田	—
循環器内科		瀬川	加藤(周)	瀬川	加藤(周)	大野 (腎臓内科)	担当医
		八巻	大野 (腎臓内科)	八巻	谷島 (非常勤)	早川 (非常勤)	—
腎臓内科		大橋	—	大橋	泉	—	大橋
糖尿病・内分泌内科		猿井	武田	武田	猿井	猿井	武田
		柳瀬	柳瀬	佐々木	佐々木	武田	佐々木
呼吸器内科		金村	栗林	舟口 (非常勤)	栗林	栗林	金村
外科		久米	久米	秦	中嶋	川部	担当医
		高橋	川部	(高橋)	秦	中嶋	山本 (第2・4週目)
乳腺外科		川口	細野	川口	細野	川口	細野(第1・3・5週目) 川口(第2・4週目)
		細野	川口	細野	川口	細野	—
脳神経外科		石澤	郭	山下	石澤	安藤(隆) (非常勤)	郭
		山下	辻本	船津	辻本	—	船津
整形外科	初診	日下・河合	青芝・山賀	塚田	後藤	前田	担当医
	予約診	後藤	今泉	前田	河合	大友	今泉 (第1・3週目)
	予約診	—	塚田	日下	山賀	日下	日下・塚原 (第2週目)
	予約診	—	—	青芝	塚原	今泉	—
眼科	1診	安藤(友) (非常勤)	田中 (非常勤)	奥村 (非常勤)	—	奥村 (非常勤)	—
	2診	—	矢田	矢田	矢田	矢田	—
泌尿器科		江原	土屋 (非常勤)	江原	江原	江原	—
婦人科		藤本	(予約制)	(予約制)	藤本	藤本	—
放射線治療科		—	田中(秀) (非常勤)	—	大宝 (非常勤)	—	—
歯科・口腔外科		村松・本橋	村松・本橋 田村	村松・本橋 田村	村松・本橋 田村・本間	村松・本橋 田村	村松・本橋 田村

【ご案内】 ●診療受付時間は、全科8:00～11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません。)
●年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。

【予約診療について】 (一部の診療科を除き、初診の予約診療は行っていません。) 予約・予約変更連絡先 予約変更受付時間(曜日)

- 内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科 (058) 253-8001 (代表) 13:00～15:00 (月～金曜日)
- 糖尿病・内分泌内科 (058) 253-8001 (代表) 13:00～15:00 (月～金曜日)
- 外科 (058) 253-8001 (代表) 13:00～15:00 (月～金曜日)
- 脳神経外科 (058) 253-9921 9:00～16:00 (月～金曜日)
- 整形外科(再診は予約制です。) (058) 253-5223 13:00～16:00 (月～金曜日)
- 眼科 (058) 253-8001 (代表) 13:00～15:00 (月～金曜日)
- 泌尿器科 (058) 253-8001 (代表) 13:00～15:00 (月～金曜日)
- 乳腺外科(初診・再診とも予約をおとりください。) (058) 253-8001 (代表) 14:00～16:00 (月～金曜日)
- 婦人科(初診・再診とも予約をおとりください。) (058) 253-8001 (代表) 14:00～16:00 (月～金曜日)
- 歯科・口腔外科 (058) 252-6947 8:30～16:30 (月～金曜日)
8:30～12:00 (土曜日)

朝日大学 村上記念病院 [病院機能評価認定病院]
[人間ドック・健診機能評価施設]

〒500-8523 岐阜市橋本町3丁目23番地 TEL:058-253-8001(代) FAX:058-253-5165(総合受付)
ホームページアドレス <http://www.murakami.asahi-u.ac.jp>